

一方の数が分かっているもう一方の数を求めるとき

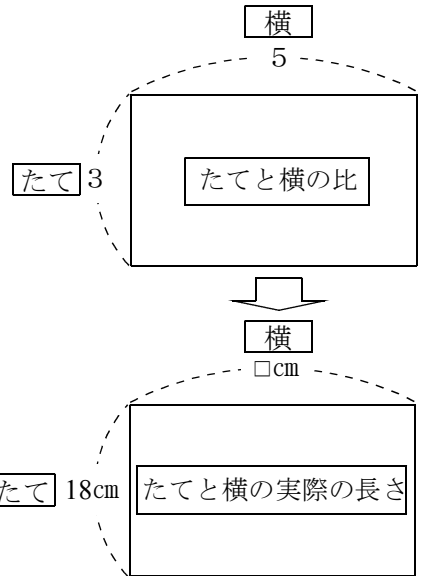
例題 たてと横の長さの比が 3 : 5 の長方形を書こうと思います。たての長さを 18 cm のとき、横の長さは何 cm ですか。

比の式を作る

$$\begin{array}{c} \boxed{\text{たて}} \quad \boxed{\text{横}} \quad \boxed{=} \quad \boxed{\text{たて}} \quad \boxed{\text{横}} \\ 3 : 5 = 18\text{cm} : \square\text{cm} \\ \text{比} \qquad \qquad \qquad \text{実際の長さ} \end{array}$$

$$\begin{array}{c} \times 6 \\ \curvearrowright \\ 3 : 5 = 18 : \square \\ \text{前項} \quad \text{後項} \quad \text{前項} \quad \text{後項} \\ \curvearrowleft \\ \times 6 \end{array}$$

$5 \times 6 = 30$ 答え 横 30cm



全体の数が分かっているそれぞれの数を求めるとき

例題 あきらさんの学校の児童数は 361 人で、男子と女子の人数の比は 10 : 9 です。男子と女子の人数を求めなさい。

① まず両方の比をたして **全体の比** を求める。

$$\begin{array}{c} \boxed{\text{男子の比}} \quad \boxed{\text{女子の比}} \quad \boxed{\text{全体の比}} \\ 10 + 9 = 19 \end{array}$$

19 361人

② 全体の比と全体の児童数を利用して男子または女子の人数を求める比例式を書く。

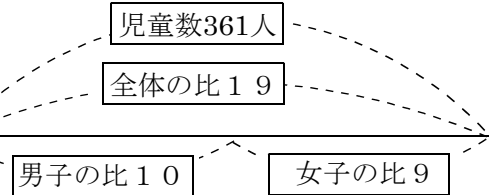
$$\begin{array}{c} \boxed{\text{全体}} \quad \boxed{\text{男子}} \quad \boxed{\text{全体}} \quad \boxed{\text{男子}} \\ 19 : 10 \equiv 361\text{人} : \square\text{人} \\ \text{比} \qquad \qquad \qquad \text{実際の人数} \end{array}$$

$19 \times \square = 10 \times 361$

$19 \times \square = 3610$

$\square = 3610 \div 19$

$\square = 190(\text{男子})$



③ 女子の人数を男子の人数を利用して求める。

$$\begin{array}{c} \boxed{\text{全体}} \quad \boxed{\text{男子}} \quad \boxed{\text{女子}} \\ 361 - 190 = 171 \end{array}$$

答え 男子 190人 女子 171人